

さらに良質な医療の提供を!

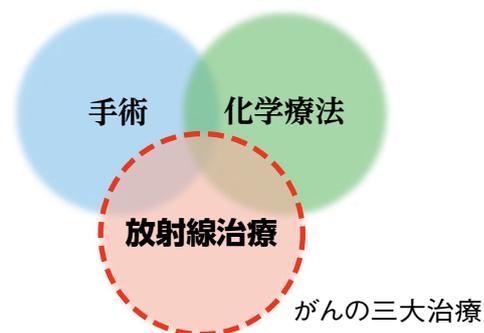
高精度放射線治療をスタート

がんは日本人の死因の1位で、その割合は年々増加しており、がん治療は大きな課題となっています。そのような中で、市立四日市病院では、最新の放射線治療装置による放射線治療を4月から開始する予定です。

がん治療の中核病院として

市立四日市病院は、緊急・重症な状態にある患者に対して、入院・手術・検査など高度で専門的な医療を提供する急性期病院であり、がん治療にも積極的に取り組んでいます。

放射線治療は、手術、化学療法と並んで、がん治療の大きな柱の一つです。この放射線治療の充実を図るために、より高度ながん治療が可能となる高精度放射線治療装置を導入しました。



救急棟西側に増築、整備された高精度放射線治療棟

●2階●
救命救急センターの機能の充実、強化を図るため、2階部分に救急病棟を整備しました。平成28年9月から運用を開始しています。

●1階●
高精度で汎用性の高い放射線治療装置のほか、治療計画室、診察室などがあります。この装置は非常に精密な医療機器であるため、4月の運用開始に向けて、現在調整作業を進めています。

患者の負担を軽減

新しい放射線治療装置は、呼吸に伴う臓器の動きなどにも対応でき、腫瘍に対しピンポイントに照射することで、正常な細胞へのダメージを最小限に抑えることができます。

これにより放射線治療の副作用が軽減し、患者の負担軽減につなげることができます。



導入された放射線治療装置

この装置の整備により、がんの種類や進行度に応じて最新医療水準の単独またはいくつかの治療を組み合わせた「集学的治療」をより充実させることができるようになります。今まで以上に各治療の相乗効果を高め、北勢地域におけるがん治療の中核病院としての機能を発揮していきます。

